

津崎村岡 つさきむらおか 歌人、近衛家老女。天明六年京都嵯峨生れ、明治六年八月二十三日歿（七六一―八七三）。本名矩子、かひ初の梅子。少時より近衛家に仕へ、村岡局と稱した。主人近衛忠熙の側近として諸志士と聯絡。明治維新に際し、多年王事周旋の功により賞曲録（二十石）下賜せられた。爾來嵯峨の山莊直指庵に籠り自適。



遺歌集『嵯峨野の花』（明治二十八年一月十七日阪田総刊、穴山篤太郎世賣捌）。